



たんぽぽっ当しん



H24 年度号

新年おめでとうございます。

旧年中は当施設の運営にご協力いただき、ありがとうございました。

平成2年4月に開所しました当施設も、本年で23年目を迎え、利用者の皆さんは、色々な体験を重ねることで、充実した時間や人と関わる楽しさを体得でき、家庭や「たんぽぽ」では1人ひとりが「豊かで安心した暮らし」を実現できるようになりました。

今後は、ご家族と「この先どのような支援を受けて、どのような生活を描いていくのか」をともに考えていきたいと思えます。重度の障がいがあっても障害者総合支援法が理念とする「地域社会における共生」が現実となるように、また、より長く家族との生活が継続できるよう利用者やご家族に寄りそった支援を行いたいと思えます。

35名の利用者には、35通りの生活やニーズがあります。本年も、各関係機関との連携を密にして、利用者やご家族が希望される生活に少しでも近づけるよう、職員一同努力していく所存です。

今年も皆様方の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

たんぽぽ所長 後藤 ゆき子

「送迎バス運行中の避難訓練」を実施！

H24. 10. 25、29

～災害から身を守るための第一歩～



「たんぽぽ」では、予期せぬ災害への備えとして、保存食や物品の備蓄、建物内の器物の落下や転倒防止の措置を行ってきました。

また、常日頃から避難訓練を行うことで、防災力や意識の向上を図ってきましたが、一昨年の「東日本大震災」を教訓として、家族や関係機関も含めた「送迎バス運行中の避難訓練」を実施しました。

今回の訓練では、予め訓練の内容を通知し、利用者をご家族に引き渡す場所も決まっていたため比較的スムーズに訓練を行うことができました。そして、「突然に大きな地震が襲ってきたら…？」と、それぞれの立場で改めて考えるきっかけとなりました。

今回の訓練で発見できた課題や問題を踏まえ、今後は、さまざまな状況を想定した訓練を行っていききたいと思います。

<特急電車に乗ってきました!!>

今年一番の目玉は、特急電車の利用体験です。昨年までは、公用車で往復していましたが、電車が大好きな利用者が多いということで、行きだけでしたが、近鉄特急を利用したの旅となりました。

特急券は発売日の1ヶ月前に購入して、準備は万全に整え、時間には余裕を持って、いざ出発進行!!

- ・特急電車の大きな窓から見える景色を楽しむ人
- ・途中の停車駅で電車が止まると、「まだ降りなくていいのかな…」と、心配そうに周囲の人の顔を眺める人
- ・少し緊張の面持ちの人

様子は様々でしたが、よい社会体験ができたことは間違いありません。

また、車椅子を使用している人が乗車する際には、近鉄の駅員さんに助けていただきとても助かりましたが、特急電車の乗降口や車両の通路が狭い等、まだまだ不便な点が多いということにも気づきました。



<旅館に泊まってきました!!>

旅館に到着して、みんな各自の部屋でホッと一息つきました。一息ついたら、まずは夕食の前に入浴です。大浴場はバリアフリーになっていて、脱衣場へ車椅子のまま入ることが出来ました。大はしゃぎして入浴する人もいれば、緊張した表情でドキドキしている人もいて旅行ならではの経験でした。

夕食の料理は、利用者の状態に合わせて一口の大きさ等に配慮をいただいていたので、残さず食べることができ、皆さん大満足でした!!

夕食後は、次の日に備えて早めに就寝しました・・・ZZZ翌朝、ホテルの玄関前で記念写真を撮りました!



一泊社会体験に

行ってきました!

今年度は少人数のグループ(9班)に分かれ、近鉄特急を利用して、伊勢と二見に行ってきました。

それぞれの場面を振り返り、楽しかった思い出を皆様にお伝えします。



<伊勢神宮に行ってきました!!>

内宮を散策した人や、おかげ横丁を散策した人など、それぞれのチームにあった体験をしてきました。内宮へ向かった車椅子を使用している人は、社務所で電動の車椅子を借り、玉砂利の道をスイスイと乗り心地良く進んでいきました。

おかげ横丁では、昼食にステーキ丼や松阪牛コロッケ、伊勢うどんなど自分の食べたいものを選んで食べたり、夏に行ったチームは、赤福氷を堪能した人もいました。



<二見シーパラダイスに行ってきました!!>

2日目は二見にあるシーパラダイスに行ってきました。入り口では、大きなトドが私達を出迎えてくれました。水槽の中を自由に泳ぐ姿に目が釘付けです。

館内では、可愛いアザラシのからだに触れながら一緒に記念撮影。柵もプールもないところで、飼育員が合図をすると大きなセイウチが目の前に現れました。あまりの大きさに、はじめはビックリしましたが、友達になる事ができました。

たくさんの海獣を間近で見て、触れて、とても楽しい時間が過ごせました。

ボランティア募集のお知らせ

音楽演奏をして
いただける方

わたしたちの活動にご協力ください
ボランティア経験のない方も大歓迎です。
お待ちしております。

おしゃべりしていただける方

公園などへの散歩

連絡先：障害者自立支援施設 たんぽぽ
TEL 059-322-5567

ビーズやステンシルを
使った文化活動

たんぽぽでの
畑作業

お菓子作りや
手芸

缶つぶしなどの
軽作業

☆ボランティア担当から一言☆

無理なく、あなたらしく「できること」があったら。
たんぽぽでの活動が、あなたの「生活の楽しみ」のひとつ
つになるとしたら。
ボランティア活動を始めてみませんか。



障害者自立支援施設 たんぽぽ

〒510-0943

三重県四日市市西日野町

4070-1

電話：

059-322-5567

FAX：

059-321-8561

Eメール：

tanpopo@m5.cty-net.ne.jp

2013年 1月発行



☆編集後記☆

私は15年以上、同じ美容院に通っています。そこは地元にある小さな美容院で、美容師さんは生まれつき聴覚に障害があります。店内はとても静かで、聴こえるのは、髪をカットする音だけです。学生時代に髪を金色に染めてもらったのも、先生に叱られて「坊主頭」にしなくてはいけない時も、この美容院のお世話になりました。毎回雑誌の切り抜きを持って行き、身振り手振りで希望を伝えて髪をカットしてもらっています。

私は手話は出来ませんが、「伝えたい！」という気持ち
が大切だと思います。

今日も、美容院には、いつものようにたくさんのお客さんが来店していることでしょう。